

# 山行報告書

日時	2019年 8月3日(土)		天候	晴
山名	アゼリア塾 福智山七重の滝 沢登り			
CL	ヒデ	参加者	講師:あき 受講生:T坂、yuka★	
(コース)	大野城駅7:00 → 太宰府IC → 小倉南IC → 鱒淵ダム8:20 → 七重の滝入渓点9:00 → 七の滝12:00 → 七重の滝(終了点)12:40 → 昼食 → 鱒淵ダム			
(コメント)	<p>アゼリア塾では、今年初めての沢登という事で、福智山の七重の滝に行ってきました。初めて行く沢でしたので、どんなものかと思っていましたが、思ったよりも思いの外厳しく一の滝から三の滝まで巻いてしまいました。水量も多く残りの滝も悪戦苦闘しながら、どうにか全員無事に終了することが出来ました。1つ反省点として、リーダーとしての安全管理が不十分であったことがありました。(あき)</p> <p>以下、受講生感想</p> <p>-----</p> <p>・去年登山学校で体験するまで沢にはあまり興味がなく、今回が初の本格的な沢登りとなりました。入渓して一の滝までは、小さな滝を越えたり時々泳いだりして楽しく進みました。ところが一の滝に到着すると様子は一変、滝の落差が大きく、取り付いたら弾き飛ばされそうな水の勢い。ゴーゴーと音をたてて落ちてくる水に圧倒され、「これを登るの?!」と青くなりましたが、リーダーの判断で登山道へエスケープしました。四の滝までは滝の前に様子を見に行つては登山道へ、を繰り返し、五の滝から七の滝までを遡行しました。</p> <p>その中で1番の頑張りどころは七の滝。落差10m程の大滝で、水量も多いのですが、良く見ると滝の左のラインに立てそうなスタンスもガバもあるようなないような...リーダーが滝の右の岩場を上がって肩がらみで確保するので、登って来いと指示。内心とても無理だと思いましたが、勇気を奮い立たせて滝壺を渡り、左のラインに取り付きました。確かに水の中にガバはあるのですが、滝の中に入ると視界が真っ白になり、凄まじい水圧に耐えながら、どこにあるかわからない次の一手を手探りで探すのは大変な恐怖でした。手近にあった小さなホールドを頼りに上がろうとチャレンジしましたが、呆気なく叩き落とされ(泣)...結局寒さと怖さに心折れて、岩場を上がりました。</p> <p>思うようには行かない沢登りですが、猛暑に飽き飽きした時の水は本当に気持ち良く、なかなか良いものだと思います。ただし、滑る石や苔で思わぬ転倒や滑落がある、プロテクションが取りづらい、トラバースが多い、ベストな位置でビレイができないことがある等、沢登りにはリスクが多いことも感じました。今後も継続して参加し、リスクを軽減するために経験を積んで学んでいきたいと思えます。(T坂)</p>			

・雨でずっと延期になっていた沢登り。梅雨も明けやっと沢デビューすることが出来ました。七重の滝は七つ滝があって、今回は1.2.3をまいて4~7の滝を登りました。最後の難関7の滝、遠目から見ると登れる！って思えるけど水量が多く滝の下に入ると目も開けられないほど…。そんな中トライするも滝が顔面を打ちつけて顔が上げれず、それでも何とか手探りで手がかり、足がかりを掴もうと頑張ってみるものの冷たさで指先が痺れ身体は寒さでガタガタ震え…潔く諦めました！

下山を開始すると身体も温まってきて心地よく風も吹き快適。途中でお昼を食べ増淵ダムまで車道歩き。帰路は温泉へ、沢登り後の温泉は格別に気持ちよかったです。昨年までは40° であろうが夏も普通に山に登っていたけれど、この気持ちよさを味わったらそこへ戻れるだろうか…めっちゃ楽しかったです！ありがとうございました！（yuka★）



費用概算

(交通費/人)

(その他/人)

(2016.01.27改訂)